

高畠町公式マスコットキャラクター



たかっき

はたっき

令和元年度 第1回高畠町景況調査結果 (令和元年6月実施)

高畠町商工観光課

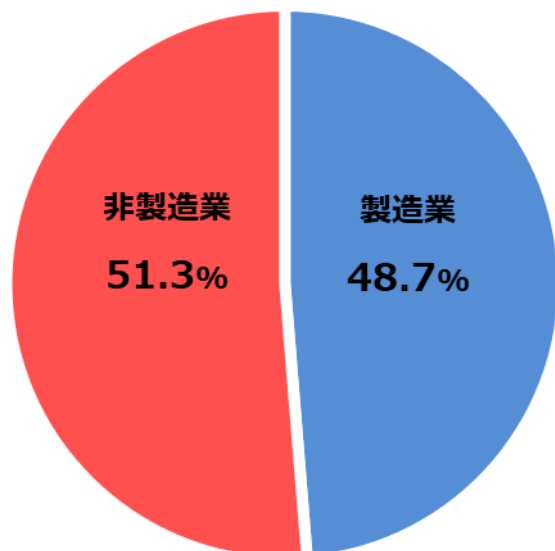


1. 調査概要及び回収結果

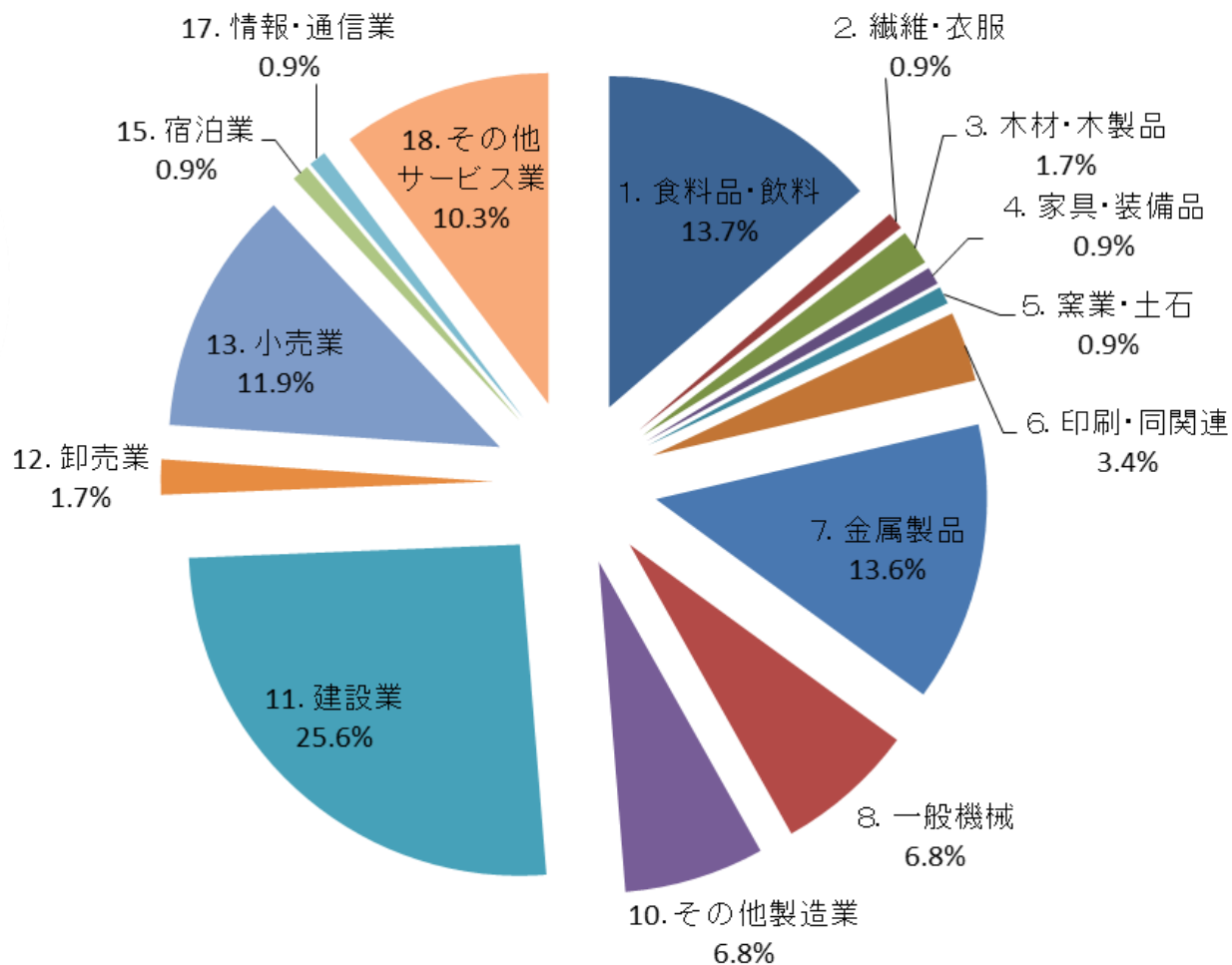
1. 調査の目的 町内事業所の現状の景気動向を把握し、地域産業の振興施策を検討する上での基礎資料を得る。特に、政府による経済政策に対する景気動向と行政、商工会等に希望する支援等を調査する。
2. 実施主体 高畠町、高畠町商工会
3. 調査設計 (1)標 本 数:町内事業所(個人事業主も含む)181事業所
(2)調査方法:調査票の配布(郵送法)、回収(FAX及び持参)
(3)調査期間:令和元年6月14日～令和元年7月13日
(4)基 準 日:令和元年6月1日
4. 回収結果 117事業所／回収率:64.6%(前回の回収率:58.4%)
5. 採用指標 「景気動向指数D.I.(ディフュージョン・インデックス)」を採用
実数値の上昇率を表すものではなく、強気・弱気などの景気感の相対的な広がりを表す。
本調査では、「増加(良い・上昇・過剰等)」と回答した事業所数の構成比から、「減少(悪い・低下・不足等)」と回答した事業所数の構成比を差し引いた値で算出している。

<回答事業所内訳>

製造業・非製造業別

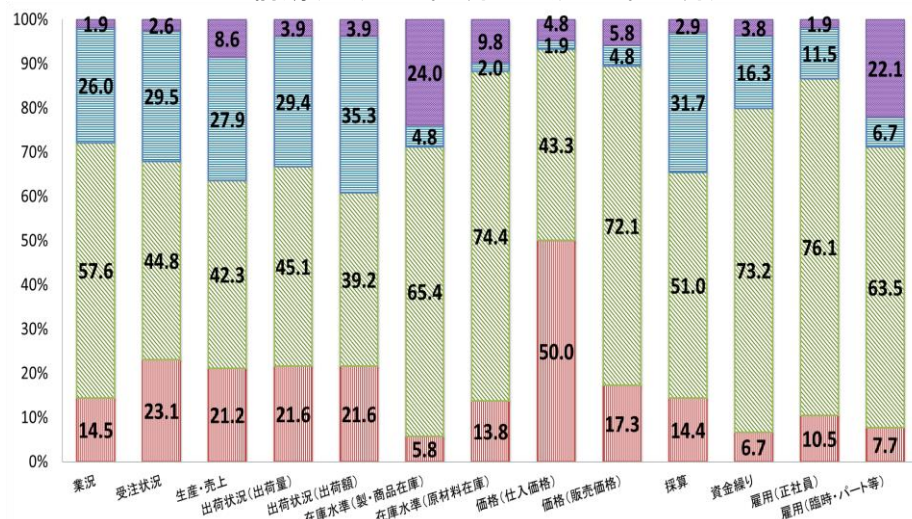


業種別

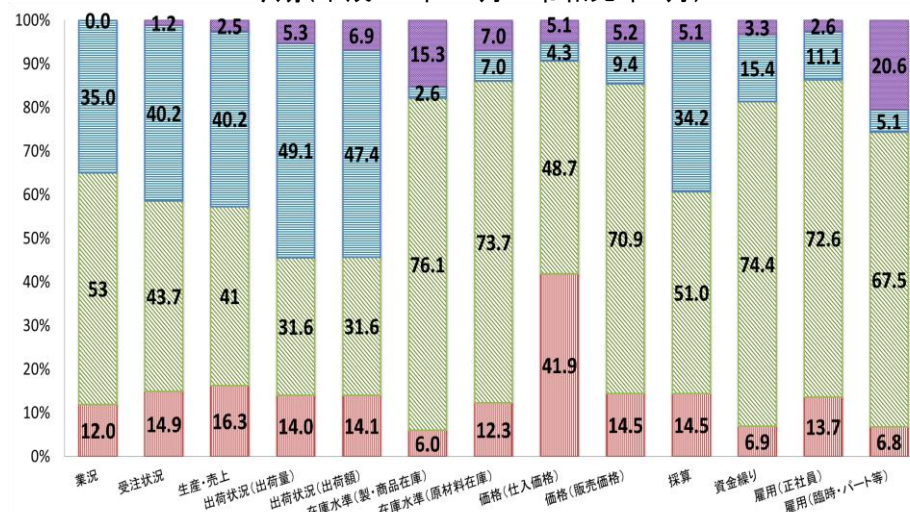


2. 各設問のデータ比較

前期(平成30年6月～平成30年11月)



今期(平成30年12月～令和元年5月)



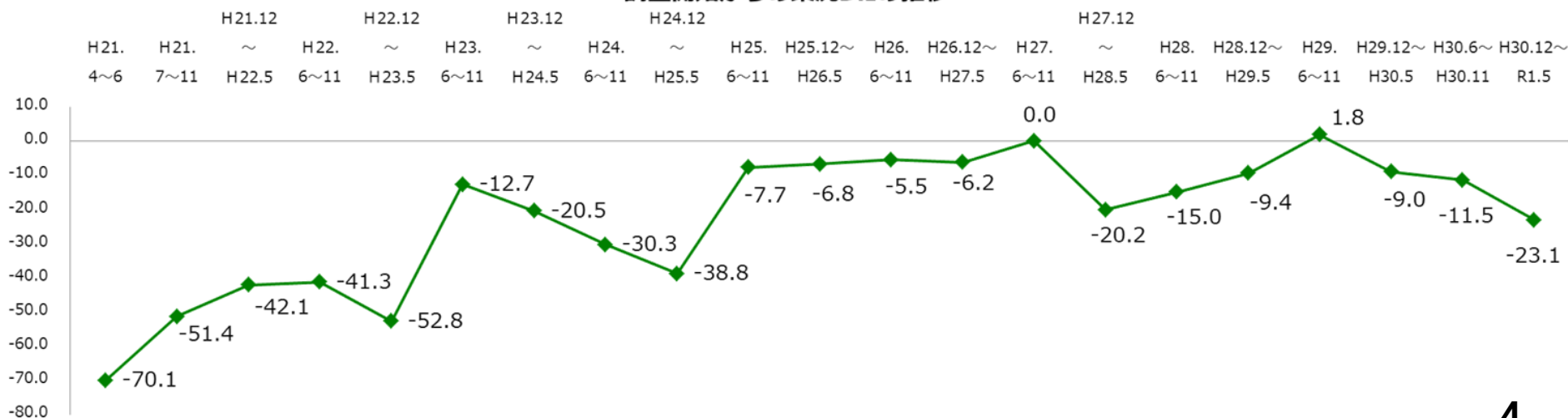
■ 増加(良い、上昇、過剰等)

■ 普通(不変、適正)

■ 減少(悪い、低下、不足等)

■ 無回答

調査開始からの業況D.I.の推移



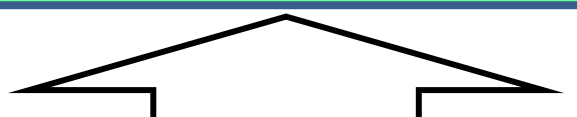
3. D.I.から見た景気予測

※DI(ディフュージョン・インデックス)・・・「増加(良い・上昇・過剰等)」ー「減少(悪い・低下・不足等)」の値

No	調査項目	今回調査																					
		H21 4月～6月	H21 7月～11月	H21.12～ H22.5月	H22 6月～12月	H22.12～ H23.5月期	H23.6～ 11月期	H23.12～ H24.5月期	H24.6～ 11月期	H24.12～ H25.5月期	H25.6～ 11月期	H25.12～ H26.5月期	H26.6～ 26.11月期	H26.12～ H27.5月期	H27.6～ 27.11月期	H27.12～ H28.5月期	H28.6～ 28.11月期	H28.12～ H29.5月期	H29.6～ 29.11月期	H29.12～ H30.5月期	H30.6～ 30.11月期	H30.12～ R1.5月期 実績	R1.6～ 11月期 予想
1	業況 「良い」ー「悪い」の指数	▲ 70.1	▲ 51.4	▲ 42.1	▲ 41.3	▲ 52.8	▲ 12.7	▲ 20.5	▲ 30.3	▲ 38.8	▲ 7.7	▲ 6.8	▲ 5.5	▲ 6.2	0.0	▲ 20.2	▲ 15.0	▲ 9.4	1.8	▲ 9.0	▲ 11.5	▲ 23.1	▲ 21.4
2	受注状況 ※製造業・建設業 「増加」ー「減少」の指数	▲ 80.3	▲ 50.1	▲ 43.1	▲ 26.1	▲ 23.6	▲ 4.4	▲ 13.8	▲ 27.1	▲ 34.7	8.0	12.8	2.4	▲ 1.2	10.1	▲ 18.2	▲ 14.8	▲ 9.5	▲ 4.9	1.3	▲ 6.4	▲ 25.3	▲ 17.2
3	生産・売上 「増加」ー「減少」の指数	▲ 70.1	▲ 48.6	▲ 31.9	▲ 14.3	▲ 40.3	▲ 3.2	▲ 8.2	▲ 25.0	▲ 33.7	2.9	1.9	0.0	▲ 6.2	▲ 4.6	▲ 21.0	▲ 19.5	▲ 6.8	0.9	▲ 7.3	▲ 6.7	▲ 23.9	▲ 26.5
4	出荷状況【出荷量】 ※製造業 「増加」ー「減少」の指数	▲ 70.3	▲ 47.0	▲ 33.4	▲ 10.0	▲ 24.4	9.4	▲ 17.5	▲ 43.9	▲ 35.6	3.5	11.5	14.0	▲ 5.7	▲ 2.0	▲ 21.7	▲ 14.5	▲ 5.2	▲ 3.6	▲ 3.6	▲ 7.8	▲ 35.1	▲ 22.8
	出荷状況【出荷額】 ※製造業 「増加」ー「減少」の指数	▲ 67.6	▲ 50.0	▲ 33.4	▲ 10.0	▲ 29.8	3.1	▲ 32.5	▲ 46.3	▲ 40.7	0.0	9.6	10.5	0.0	▲ 2.0	▲ 15.0	▲ 9.1	▲ 8.6	▲ 7.1	▲ 5.4	▲ 13.7	▲ 33.3	▲ 21.1
5	在庫水準【製・商品在庫】 「過剰」ー「不足」の指数	▲ 5.2	2.7	2.9	6.3	8.3	3.2	9.6	7.9	9.2	7.7	3.9	▲ 0.9	4.4	4.6	5.7	1.8	3.4	5.3	1.8	1.0	3.4	2.6
	在庫水準【原材料在庫】 ※製造業 「過剰」ー「不足」の指数	16.2	11.8	0.0	10.0	5.4	9.4	2.5	12.2	6.8	14.0	3.8	7.0	0.0	3.9	3.3	9.1	5.2	7.1	▲ 1.8	11.8	5.3	5.3
6	価格【仕入価格】 「上昇」ー「低下」の指数	▲ 3.9	2.8	18.8	27.0	32.0	34.9	32.9	32.9	50.0	45.2	59.2	49.1	48.7	28.7	25.0	33.6	32.5	38.1	56.9	48.1	37.6	41.0
	価格【販売価格】 「上昇」ー「低下」の指数	▲ 51.9	▲ 52.8	▲ 40.6	▲ 30.1	▲ 26.4	▲ 17.5	▲ 20.5	▲ 21.1	▲ 23.5	▲ 7.7	8.7	1.8	4.4	▲ 0.9	▲ 4.8	▲ 3.5	▲ 4.3	12.4	3.7	12.5	5.1	10.3
7	採算 「好転」ー「悪化」の指数	▲ 70.1	▲ 55.5	▲ 39.1	▲ 27.0	▲ 54.1	▲ 25.4	▲ 24.7	▲ 27.6	▲ 35.7	▲ 8.7	▲ 20.4	▲ 9.1	▲ 9.7	▲ 8.3	▲ 16.1	▲ 20.4	▲ 13.7	▲ 8.0	▲ 12.8	▲ 17.3	▲ 19.7	▲ 24.8
8	資金繰り 「好転」ー「悪化」の指数	▲ 50.6	▲ 40.3	▲ 23.2	▲ 23.8	▲ 33.3	▲ 22.2	▲ 20.5	▲ 22.4	▲ 31.6	▲ 12.5	▲ 8.7	▲ 5.5	0.0	▲ 7.4	▲ 10.5	▲ 8.0	▲ 11.1	▲ 8.8	▲ 4.6	▲ 9.6	▲ 8.5	▲ 12.0
9	雇用【正社員】 「増加」ー「減少」の指数	▲ 9.1	▲ 8.4	▲ 10.3	▲ 9.6	1.4	▲ 11.1	12.3	▲ 2.6	▲ 5.1	1.0	▲ 7.8	▲ 3.6	0.0	▲ 5.6	4.0	▲ 8.0	3.4	▲ 1.8	5.5	▲ 1.0	2.6	4.3
	雇用【臨時・パート社員等】 「増加」ー「減少」の指数	▲ 15.6	1.4	▲ 5.8	7.9	▲ 5.5	0.0	16.4	1.3	▲ 1.0	1.9	1.9	0.0	3.5	1.9	0.8	▲ 2.7	1.7	2.7	3.7	1.0	1.7	2.6

4. 景気動向(概要)

町内事業所の業況は、米中貿易摩擦などにより受注や出荷が減少し、下降傾向にある。また、10月からの消費税率引き上げに伴う事業所への影響が懸念される。

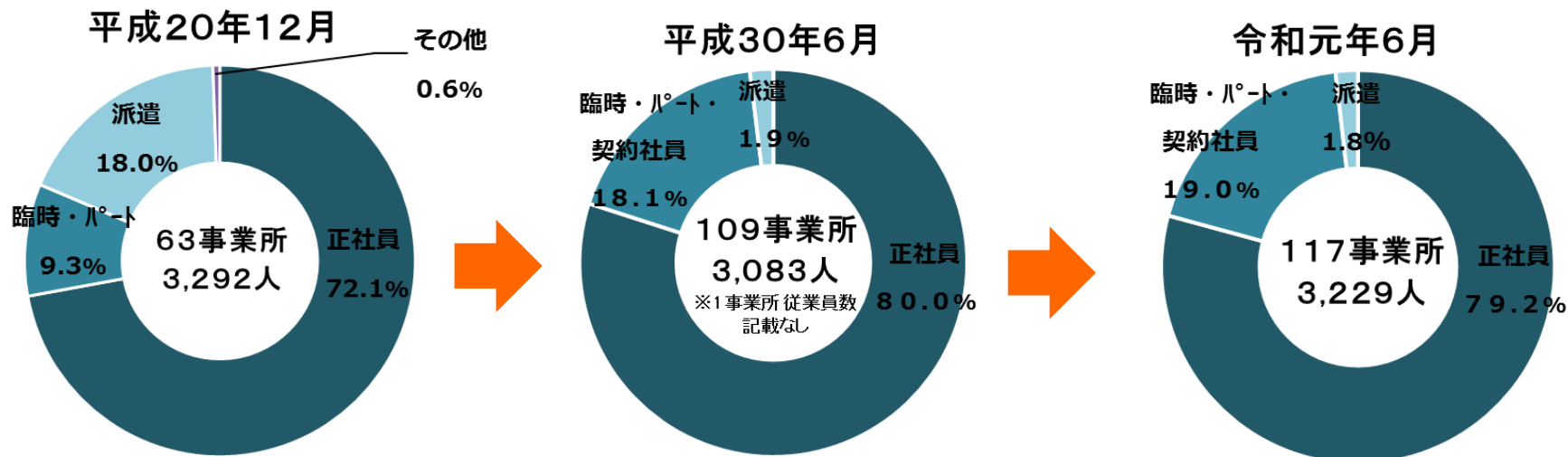


(1) 業況については、前期(▲11.5)から今期(▲23.1)と11.6ポイント減少し、3期続けての減少となった。また、「受注」「生産・売上」「出荷量・出荷額」がそれぞれ減少の値となり、それと共に「採算」が微減となった。「仕入価格」については、前期に比べ値が減少しているが、未だ価格は上昇傾向である。

来期については、「受注」や「出荷量・出荷額」が回復する見込みであるが、「生産・売上」には伸びが無く、「採算」や「資金繰り」への影響が懸念される。

(2) 雇用については、「正社員」、「臨時・パート」共に改善している。来期についても、プラスの値を維持する見込みであり、引き続き、人員増加の動きが見られる。

5. 雇用状況の推移

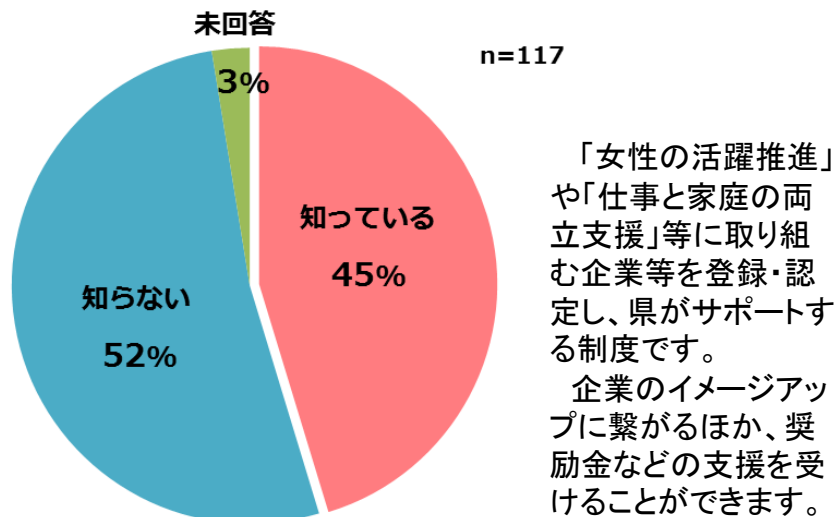


調査を開始した平成20年12月と比較し、総従業員の割合について、今期は正社員は7.1%、臨時・パート等は9.7%増加し、派遣は16.2%減少している。1年前との比較では、割合はほぼ変化なしとなっている。

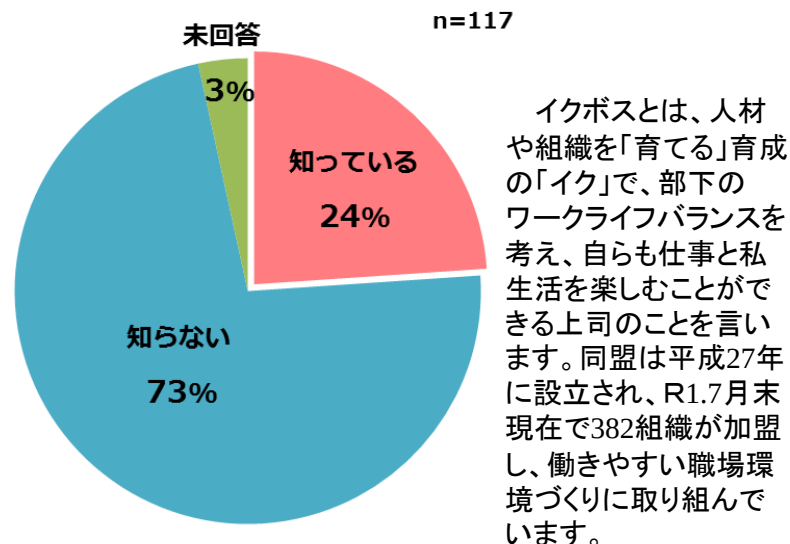
雇用情勢は改善しており、正社員、臨時・パート等共に増員が見込まれる。

6. 子育て支援制度の認知度

『山形いきいき子育て応援企業』の登録制度について



『やまがた企業イクボス同盟』について



男女共同参画に関わる制度のうち、企業向けの各制度についての認知度ををはかるため、設問を設けました。

「山形いきいき子育て応援企業」登録制度については、昨年度比較し認知度は上がったものの、過半数に至らない結果であり、「やまがた企業イクボス同盟」については、「知らない」が7割を超え、まだまだ制度の周知には至っていない結果となりました。

共働き世帯が多い山形県にあって、企業の各種制度の認知度をあげ、取り組み企業が増えることが男女共同参画の推進に繋がりますので、引き続き国・県と連携しながら制度の周知に努めていきます。

7. 事業所・業界の動向、要望事項

1	設備投資に対する助成金
2	高校生や就職者への企業紹介
3	エアコンなどの設備の支援を希望
4	異業種連携事業への支援（農業と加工業者など）、Uターン、Iターン移住者への支援（助成）、 今後は外国人労働者雇用に対しても施策が必要か。
5	補金交付を増やして欲しい。補助率を上げてほしい。
6	これからの町のあり方を方向づけるような理念条例の制定を期待いたします。
7	スーパーなどが増えてきて、商店街への客数が減少しており何かイベントでもあればと思います。
8	1学級1新聞